

運動体設計：活動報告 2024年度

研究代表者：瀬川 晃 研究分担者：赤松 正行 | クワクポリョウウタ 履修学生：志村翔太 | 中村駿 | 芹澤 碧 | 榎原 礼彩

研究期間：2023年 - 現在

研究概要

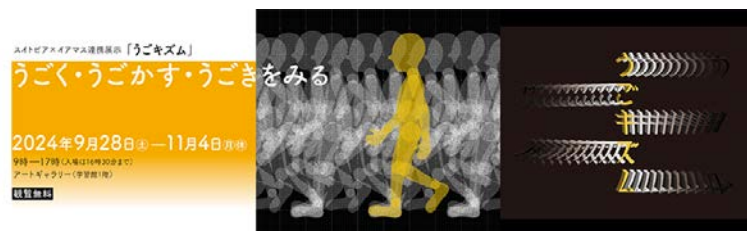
運動体とは、時間の経過とともに空間内の位置が変化する現象や活動と定義し、動機 (motive) となる題材 (motif) を見つけ、日々の実践を遂行するための知見や方法論を探索します。ラースロー・モホイ=ナジ (1947) の言葉に基づき、知性と感情を、社会的要素と技術的要素のバランスを取った状態に保つことを出発点とし、アイデアを具体化するプロセスを検証し、公開することを目指します。

このプロジェクトは、任意のグループ「クリティカル・サイクリング (2016年〜)」の実践を基盤とし、萌芽プロジェクト「プラクティカル・サイクリング」を経て、研究参加者との定期的な意見交換を通じて実施されています。

手法としては、クリティカル・サイクリングが自転車に乗ることを批評的に捉えている点に着目し、このプロジェクトでは何らかの「運動体」に関連する実践が、芸術的、社会的、学術的な意義を持つかどうかを検証します。ここでの実践とは、グラフィックを作る、詩を作る、映像を作る、ワークショップを作る、など様々な展開が想定されます。

クリティカル・サイクリング：<https://criticalcycling.com/>

2024年度は、複合施設である大垣市サイトピアセンターのメディアアート事業において、これまでIAMASは教員・学生・卒業生に様々なかたちで関わりを持ってきた。今回の展覧会では、IAMASの教員・学生による運動体設計プロジェクトメンバーが参画し、「うごき」をテーマにした新作を発表をし、3500名を超える来場があった。



イベント情報・イベント詳細 / 大垣市サイトピアセンター

大垣市民の文化芸術の創造拠点。サイトピアセンターをはじめ、大垣市文化事業団が管理運営する施設をご紹介します。

https://www2.og-bunka.or.jp/event/data_1352.html

そのほか、前期後期を通じて研究参加者各自による実践をクリティカル・サイクリングのWEBサイトへ記事を公開した。個々の活動内容はこのWEBサイトで参照されたい。

WEBで掲載されている記事の主な内容は、実走調査 (Cycling Edge : 赤松正行) | デザイン実践 (Visions in Motion : 瀬川晃) | レポート (志村翔太) などがある。サイクリング・エッジとして地理的、社会的、文化的な

境界を自転車で巡る実走調査を行い、運動体という観点でデザインを捉え直してみる実践、自転車による移動と生成AIと文学との試み、といった個々人の興味関心を動機として、先行事例のサーチと関連付けて考察している。

赤松正行

Cycling Edge 36: 八丈島

絶海の孤島、青ヶ島の前後は八丈島に滞在していた。この島は羽田から1時間弱で気軽に訪れることができる。廃墟を含め...

<https://criticalcycling.com/2025/03/cycling-edge-36-hachijo-jima/>



Cycling Edge 35: 青ヶ島

2月上旬に八丈島、そして青ヶ島を訪れた。極寒期は南の島で極楽ライド、ではない。それは台湾で懲りている。そうでは...

<https://criticalcycling.com/2025/02/cycling-edge-35-aogashima/>



Cycling Edge 34: 台中

台湾では台北から日月潭を経て、最後は台中へ。高速バスで40分ほど。台湾の中西部にあり、人口286万人で台湾第2...

<https://criticalcycling.com/2025/02/cycling-edge-34-taichung/>



Cycling Edge 33: 日月潭

日月潭（リー・ユエ・タン、Sun Moon Lake）は台湾中央にある美しい湖。環島（台湾一周）サイクリングで...

<https://criticalcycling.com/2025/02/cycling-edge-33-sun-moon-lake/>



Cycling Edge 32: 台湾の自転車シェアリング

当然のように台湾でも自転車シェアリングは盛んだ。台北でも、後に訪れた台中でも、白と黄色の自転車YouBikeを...

<https://criticalcycling.com/2025/01/cycling-edge-32-bike-sharing-in-taiwan/>



Cycling Edge 31: 台北

12月の後半に台湾に出かけた。年末年始の混雑を避け、暖かい場所で自転車に乗る魂胆。ところが、台北に着いて驚いた...

<https://criticalcycling.com/2025/01/cycling-edge-31-taipei/>



Cycling Edge 30: ソーシャル×散走

シマノが企画する「ソーシャル×散走」企画コンテストが毎年開催されている。学生を対象として、自転車に乗って社会課...

<https://criticalcycling.com/2025/01/cycling-edge-30-social-x-sansou/>



Cycling Edge 29: チェンマイ郊外

タイ、チェンマイの市街地は必ずしも自転車に適した走行環境ではなかった。そこで趣向を変えて、郊外の自転車ツアーを...

<https://criticalcycling.com/2024/12/cycling-edge-29-chiang-mai-suburban/>



Cycling Edge 28: チェンマイ市街地

11月の満月の夜、タイのチェンマイに出掛けた。何千何万というランタン（天灯）が夜空に舞うコムロイ祭りを見るた...

<https://criticalcycling.com/2024/12/cycling-edge-28-chiang-mai-city/>



Cycling Edge 27: 倉敷・真備町

晴れの国、岡山、3日目。戦争遺構の蒜山高原や森の芸術祭の県北部から南下。総社市で洋食ランチをいただき、デザート...

<https://criticalcycling.com/2024/11/cycling-edge-27-kurashiki-mabichou/>



Cycling Edge 26: 森の芸術祭

蒜山高原の戦争遺構を自転車で回った翌日は、森の芸術祭に出かけた。いわゆる地方芸術祭のひとつで、岡山県北部の数ヶ...

<https://criticalcycling.com/2024/11/cycling-edge-26-forest-festival-okayama/>



Cycling Edge 25: 蒜山高原の戦争遺構

10月中ばに岡山県の蒜山高原に出かけた。自然豊かな観光地で、3年前は整備されたサイクリング・ロードを最新のレン...

<https://criticalcycling.com/2024/10/cycling-edge-25-hiruzen/>



Cycling Edge 24: ドイツ郊外

ドイツのフライブルクで都市の自転車環境を体験したので、次は地方を調査しようとした。正直に言えば、シュヴァルツヴァ...

<https://criticalcycling.com/2024/10/cycling-edge-24-german-outskirts/>



Cycling Edge 23: フライブルク

8月から9月にかけて南ドイツに滞在したので、フライブルク（Freiburg）在住の小畑和香子さんを訪ねた。小畑...

<https://criticalcycling.com/2024/10/cycling-edge-23-freiburg/>



Cycling Edge 22: ラドラー

8月から9月にかけて滞在したドイツでは、機会があればラドラー（Radler）を飲んでいた。何しろ、これはドイツ...

<https://criticalcycling.com/2024/10/cycling-edge-22-radler/>



Cycling Edge 21: ゴミ拾いサイクリング

自分史上もっとも暑かった夏が終わりそうで終わらない9月末の朝、自転車に乗ってゴミ拾いをした。そのためにスーパー...

<https://criticalcycling.com/2024/09/cycling-edge-21-trash-pickup-cycling/>



Cycling Edge 20: カメラ・ボタン

2024年9月20日に登場したiPhone 16シリーズの最大の特徴はカメラ・ボタン、正式にはカメラ・コントロール...

<https://criticalcycling.com/2024/09/cycling-edge-20-camera-button/>



Cycling Edge 19: ヒッチ・ラック

先日、ドイツを訪れて一番驚いたことはe-Bike用の充電ステーションだった。次に驚いたのはヒッチ・ラックで車両...

<https://criticalcycling.com/2024/09/cycling-edge-19-%e3%83%92%e3%83%e3%83%81%e3%83%bb%e3%83%a9%e3%83%83%e3%82%af/>



Cycling Edge 18: 充電ステーション

8月後半より2週間ほど南ドイツに滞在し、近隣のフランス、スイス、オーストリアも訪れた。いずれも国境を自由に行き...

<https://criticalcycling.com/2024/09/cycling-edge-18-charging-station/>



Cycling Edge 17: クリティカル・サイクリングの投稿規定

クリティカル・サイクリングでは自転車に関する実践や調査などを本サイトに掲載している。最初の投稿は2016年6月...

<https://criticalcycling.com/2024/08/cycling-edge-17-critical-cycling-guideline/>



Cycling Edge 16: ルーフ・ラックとサイクル・キャリア

テスラ (Tesla) のモデルY (Model Y) の天井にルーフ・ラックとサイクル・キャリアを取り付けた。もちろ...

<https://criticalcycling.com/2024/08/cycling-edge-16-roof-rack-with-cycle-carrier/>



Cycling Edge 15: 九十九里浜

8月上旬に房総半島に出かけた。猛暑日がなく涼しい街と言われている千葉県のパウでの避暑だ。実際にも朝夕の涼しい潮...

<https://criticalcycling.com/2024/08/cycling-edge-15-kujuukurihama/>



Cycling Edge 14: SETOUCHI CYCLING BOOK

予定していなかった吉備路自転車道を走ったのは、前日にSETOUCHI CYCLING BOOKをいただいたから...

<https://criticalcycling.com/2024/08/cycling-edge-14-setouchi-cycling-book/>



Cycling Edge 13: テスラで車中泊

キャンピング・カーのような本格的な車中泊でなくても、クルマのなかで仮眠できると嬉しい。例えば、早朝から自転車を...

<https://criticalcycling.com/2024/07/cycling-edge-13-sleeping-in-tesla/>



Cycling Edge 12: 続・Apple Vision Proに周辺視野を

3Dプリンタで制作した開放型ライト・シールはApple Vision Proに周辺視野を取り戻し、安全で自然な...

<https://criticalcycling.com/2024/07/cycling-edge-12-peripheral-vision-2/>



Cycling Edge 11: 吉備路自転車道

梅雨だから当たり前とは言え、今年は妙に雨が多い。そんな6月下旬、梅雨の合間に嘘のように綺麗な晴れ間が広がった。...

<https://criticalcycling.com/2024/07/cycling-edge-11-kibiji/>



Cycling Edge 10: 京都の裏道

6月中旬、京都を自転車で走った。午前中に空き時間があるので、京都在住の知人に案内を依頼していた。何しろ京都はオ...

<https://criticalcycling.com/2024/07/cycling-edge-10-kyoto/>



Cycling Edge 09: 能登半島（特別編）

前編と後編に続いて、同行した3人からいただいた寄稿を特別編として掲載します。非現実な現実を巡り 文章と写真：...

<https://criticalcycling.com/2024/06/cycling-edge-09-noto-3/>



Cycling Edge 08: 能登半島（後編）

（前編より続く）能登半島地震の被災地を自転車で走る2日目は、志賀町の宿を出て県道48号線を東に進み、能登島を目...

<https://criticalcycling.com/2024/06/cycling-edge-08-noto-2/>



Cycling Edge 07: 能登半島（前編）

5月下旬に能登半島に赴いた。2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地を自転車で走るためだ。すでに5ヶ月...

<https://criticalcycling.com/2024/06/cycling-edge-07-noto-1/>



Cycling Edge 06: 東京自転車節・考

「東京自転車節」は2020年の東京で自転車配達員として働くセルフ・ドキュメンタリー映画。2021年7月公開当時...

<https://criticalcycling.com/2024/06/cycling-edge-06-tokyo-uber-blues/>



Cycling Edge 05: 地方の自転車専用道路

筆者の自宅から20~30kmほど離れた大野町には、しばしば自転車を出掛けている。広々とした田園地帯を抜ける農道...

<https://criticalcycling.com/2024/05/cycling-edge-05-cycling-road-in-country-side/>



Cycling Edge 04: 韓国の自転車シェアリング

2024年4月半ば、5年ぶりに韓国を訪れた。韓国は日本以上にクルマ社会であり、渋滞だけでなく暴走気味の運転が多...

<https://criticalcycling.com/2024/05/cycling-edge-04-bicycle-sharing-in-korea/>



Cycling Edge 03: Apple Vision Proに周辺視野を

すでに実践したようにApple Vision Proは高品質な映像の鮮明さと低遅延において、あらゆるHMDのな...

<https://criticalcycling.com/2024/05/cycling-edge-03-peripheral-vision/>



Cycling Edge 02: PikaBoostのアルゴリズムと法令

多機能ヘルメットで知られるLivallのPikaBoostは後付けの電動アシスト・ユニット。2023年3月に納...

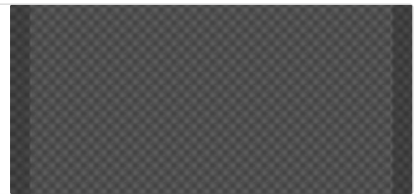
<https://criticalcycling.com/2024/04/cycling-edge-02-pikaboost/>



Cycling Edge 01: ダーク・ツーリングからサイクリング・エッジへ

IAMAS（情報科学芸術大学院大学）のプロジェクト実習「運動体設計」の一環として、昨年度はダーク・ツーリング（...

<https://criticalcycling.com/2024/04/cycling-edge-01/>



瀬川晃

Visions in Motion 22：原付と法律

モペットの取り締まり 日常の行動範囲では意識していなかったが、昨今の交通事情やモビリティの多様化により法改正が...

<https://criticalcycling.com/2024/12/visions-in-motion-22/>



Visions in Motion 21：原付と日常

コロナ禍に入ってしばらくして、電動バイクを購入した。といってもペダル付きのタイプで、バッテリーが切れても自走で...

<https://criticalcycling.com/2024/11/visions-in-motion-21/>



Visions in Motion 20：うごく・うごかす・うごきを見る

展覧会開催期間の半分を過ぎ、現時点で個々の作品についての個人的な思考を巡らしてみる。3作品に共通する「うごく・...

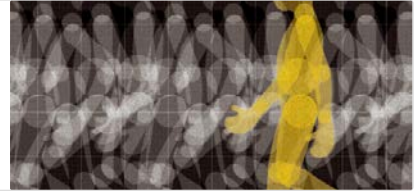
<https://criticalcycling.com/2024/10/visions-in-motion-20/>



Visions in Motion 19：うごキズム

Visions in Motionの活動基盤である「運動体設計」プロジェクトによる展覧会「うごキズム〜うごく...

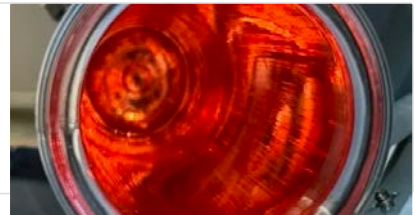
<https://criticalcycling.com/2024/09/visions-in-motion-19/>



Visions in Motion 18：太陽光とオムレツ

前回に続き、ソーラークッカーを用いて調理を試みる。前回は角度調整の失敗により期待した温度が得られなかったため...

<https://criticalcycling.com/2024/08/visions-in-motion-18%ef%bc%9a%e5%a4%aa%e9%99%bd%e5%85%89%e3%81%a8%e3%82%aa%e3%83%a0%e3%83%ac%e3%83%84/>



Visions in Motion 17：太陽光とコーヒー

夏の日差しをポジティブに捉えてみる。以前購入したソーラークッカー「GoSun」のパッケージを引っ張り出し、試し...

<https://criticalcycling.com/2024/07/visions-in-motion-17/>



Visions in Motion 16：反転

自転車を漕ぎ出せば絶えず、風を切る音や、滑走するタイヤと路面の摩擦、ペダルからチェーンを駆動する音、振動が全身...

<https://criticalcycling.com/2024/06/visions-in-motion-16/>



Visions in Motion 15：重力

自転車に乗るためには、言わずもがな重力を意識する。足を離せば右へ左へよろめき、曲がる時には遠心力と身体のバラ...

<https://criticalcycling.com/2024/05/visions-in-motion-15/>



Visions in Motion 14：あしらい

我々が目にする文字、その形、配置、雰囲気について考えてみる。具体例として「集まる」「流れる」「透ける」「連なる...

<https://criticalcycling.com/2024/04/visions-in-motion-14/>



Visions in Motion 13：積層

岐阜県揖斐郡の池田山麓には、110基以上の群集墳がある。これらは願成寺西墳之越古墳群として知られている。6世紀...

<https://criticalcycling.com/2024/03/visions-in-motion-13/>



“夜騎開封” さいたま←→鄭州

来る3/8(土)3/9(日)に自転車とiPhoneを用いたツアー型パフォーマンス「夜騎開封」さいたま←→鄭...

<https://criticalcycling.com/2025/02/saitama/>



なぜ私たちは自らの校舎をディストピアと呼ぶのか

来る2月23日にクリティカル・サイクリングと運動体設計の共催による企画ライド「なぜ私たちは自らの校舎をディスト...

<https://criticalcycling.com/2025/02/graduation-exhibition-ride-2025/>



「夜騎開封」について考える

中国の鄭州市で「夜騎開封」と呼ばれるシェアサイクルによる夜間サイクリングが流行している。2024年6月に鄭州...

<https://criticalcycling.com/2025/01/nightride-to-kaifeng/>



リンツの自転車事情

IAMASの交換留学制度を利用してオーストリアのリンツ (Linz) に滞在している。ようやく生活が落ち着いたの...

<https://criticalcycling.com/2024/12/linz/>



モバイル文学(9) 視認のための奮闘記

本記事は筆者のIAMAS (情報科学技術大学院大学) における修士研究である、自転車に乗りながら小説を読む試み「モ...

<https://criticalcycling.com/2024/11/mobileliterature-9/>



モバイル文学(8) ヘッドトラッキングの仕組み

本記事は筆者のIAMAS (情報科学技術大学院大学) における修士研究である、自転車に乗りながら小説を読む試み「モ...

<https://criticalcycling.com/2024/10/mobileliterature-8/>



モバイル文学(7) 発表場所に応じた制作と撮影

今秋にモバイル文学 (映像版) の作品発表が東京と熱海であり、ここ数ヶ月はその準備に動んでいる。IAMASの修士...

<https://criticalcycling.com/2024/09/mobileliterature-7/>



モバイル文学(6) なんだ、これは！

地元川崎の先輩、岡本太郎はこう言った。1「芸術ってのは判断を超えて、『なんだ、これは！』というものが本物...

<https://criticalcycling.com/2024/08/mobileliterature-6/>



モバイル文学(5) 傑作となり得る小説を書こう

本記事は筆者のIAMAS（情報科学技術大学院大学）における修士研究である、自転車に乗りながら小説を読む試み「モ...

<https://criticalcycling.com/2024/07/mobileliterature-5/>



運動体設計+クリティカル・サイクリング早朝盛夏ライド2024

来る7月21日にクリティカル・サイクリングとIAMASの学内プロジェクトである運動体設計との共催による早朝盛夏...

<https://criticalcycling.com/2024/06/morning-ride-2024-summer/>



モバイル文学(4) ARシステムを搭載して街へ出る

本記事は筆者のIAMAS（情報科学技術大学院大学）における修士研究である、自転車に乗りながら小説を読む試み「モ...

<https://criticalcycling.com/2024/06/mobileliterature-4/>



モバイル文学(3) ARシステムの開発

本記事は筆者のIAMAS（情報科学技術大学院大学）における修士研究である、自転車に乗りながら小説を読む試み「モ...

<https://criticalcycling.com/2024/05/mobileliterature-3/>



自転車で巡るアンコール遺跡群

筆者が初めて訪れた国外の街はカンボジアのシェムリアップだった。20歳のことだ。「本当に目的地に到着するのだから...

<https://criticalcycling.com/2024/04/angkorruinsbybicycle/>



モバイル文学(2) 映像装置で小説を表示してサイクリングをする

本記事は前回に続くモバイル文学シリーズの第二回目となる。今回は小型プロジェクターを搭載した自転車によって街に映像...

<https://criticalcycling.com/2024/03/mobileliterature-2/>

